



特集

看護学部事務室 宮本 奈々さんが 明治村写真コンテスト「明治村百景」で村長賞を受賞した作品「春の聖ヨハネ教会堂」

開学70周年記念事業 ～70周年イヤー～ 大特集！

<開学70周年記念事業>

記念式典を行いました
記念コンサートを開催しました
振り返り —これまでの取り組み—

- 01 特集
- 05 TOPICS
- 08 国際交流
- 09 表彰関連／受賞関連
- 10 学生の活躍
- 11 学生の受賞／寄附顕彰／教員著書・発行物紹介

DONATION

あなたの力が支えます

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局大学管理部総務課

tel.052-853-8005

開学70周年記念事業 ～70周年イヤー～ 大特集!

名古屋市立大学は、1884年開校の名古屋薬学校と1943年開校の名古屋市立女子高等医学専門学校を源流とし、医学部と薬学部からなる公立大学として1950年に開学し、2020年に開学70周年を迎えました。

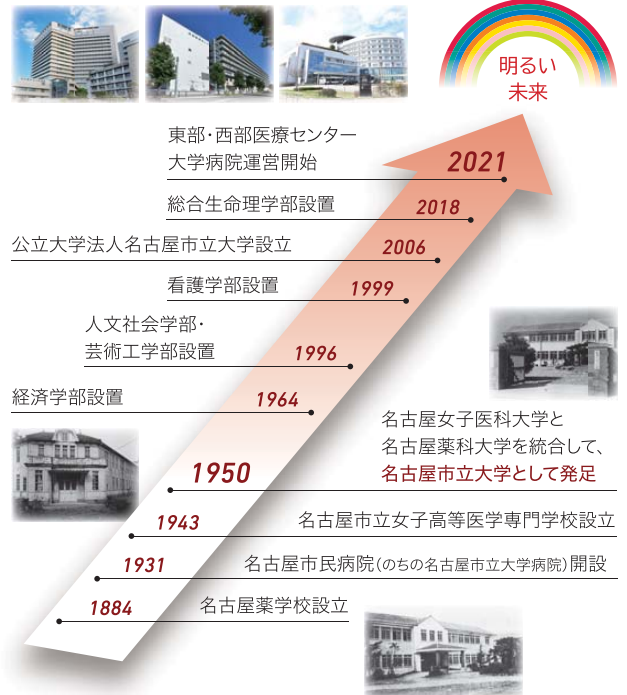


この間、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、看護学部および総合生命理学部を設置し、社会の要請にこたえながら学術領域を拡充してまいりました。現在では学生約4,600名、教職員約5,000名からなる総合大学に発展しております。

また、2021年4月には名古屋市立東部・西部医療センターが医学部の附属病院となり、約1,800床からなる、国公立大学では全国最大規模の大学病院群が誕生しました。

昨年度はコロナ禍で開学70周年記念式典および記念コンサートの開催を延期いたしました。先日多くのご参加者の下、開催いたしましたことをここに報告いたします。

本学の沿革・略年譜



明るい未来

開学70周年記念事業

記念式典を行いました

2022年2月19日(土)、名古屋マリオットアソシアホテルにて名古屋市立大学 開学70周年記念式典を開催しました。

この式典は、開学70周年の節目の事業として、2020年10月31日(土)に執り行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、この日に延期したものです。

第一部の記念式典では、学長式辞、来賓祝辞、来賓紹介、交流会副会長祝辞の後、大学紹介映像「70年の歩みと明るい未来」を上映し、続いて吉田和生副学長より開学70周年記念事業等の紹介がありました。

冒頭の式辞で学長は、名市大の発展のために必要な3つの要素について梅の成長に例えて話し、名市大を温かく支えて下さった名古屋市や地域の皆さまへの感謝の気持ちと、さらなる発展のための意気込みを示しました。



学長式辞の様子



大崎氏の講演の様子

第二部の記念講演会では、国際協力・ジェンダー専門家の大崎麻子氏を講師にお招きし、「SDGsを考える～創造する未来～」をテーマにご講演いただきました。世界全体で注目されている国際目標SDGsとその達成の先にある未来について考えるための貴重な機会となりました。

なお感染症対策のため、参加人数や規模を縮小しましたが、記念式典の様子はYouTubeで生中継し、来場者・視聴者合わせ約300名の関係者や市民の皆さまとともに開学70周年の喜びを分かち合うことができました。



式辞を述べる郡学長

開学70周年記念事業

記念コンサートを開催しました



ベートーヴェン「第九」の演奏風景

2021年11月21日(日)、愛知県芸術劇場コンサートホールで、名古屋市立大学 開学70周年記念コンサートを開催しました。コンサート開催に向けて、オーケストラは名古屋市立大学管弦楽団およびOB管弦楽団から希望者を募り、合唱団は本学教職員の呼びかけにより結成しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令されるなど、集合しての練習がままならない中、合唱については動画指導も活用しながら、各メンバーが練習を重ねました。感染拡大が落ち着いてからは、数少ないながらも集合練習を行い、指揮者の熱心な指導の下で結束を高め、本番を迎えることができました。

本番では、オーケストラ107名と合唱団64名がプロのソリストとともに、ベートーヴェン「第九」の演奏を響かせました。感染症予防対策として、収容人数を約50%に抑えるなど規模を縮小しての開催となりましたが、素晴らしい演奏と歌声に、オーケストラ、合唱団そして観客が一体となり約900名が感動を分かち合いました。

演奏曲目 ベートーヴェン交響曲第9番ニ短調 作品125「合唱付き」
ショスタコーヴィチ祝典序曲 作品96

指揮者 海老原 光

ソリスト ソプラノ 百々 あずさ
メゾソプラノ 鳥木 弥生
テノール 村上 敏明
バス 伊藤 貴之



学長挨拶

～開学70周年記念式典に寄せて～

名市大は、1950年に医学部と薬学部とからなる公立大学として創設され、その後、7学部・7研究科・3大学病院を有する総合大学へと発展を遂げてまいりました。これも偏に、本学の黎明期を築かれた先達や名古屋市ならびに地域の方々の温かいご支援によるものと深謝いたしております。

開学70周年を記念して、学生会館の全面改修とその2階に「大学史資料館」を新設し、4キャンパスにモニュメントの建築や記念誌の発行をはじめ様々な事業を実施してまいりました。一方、一部の事業は新型コロナウイルス感染症拡大のため延期を余儀なくされました。

そのような厳しい状況の中にあっても、関係各位のご尽力により式典や記念コンサートを開催することができましたことに深く感謝いたしております。

名市大は、昨年策定した「名市大未来プラン2021」と「研究科等未来プラン2021」を着実に実行し、名古屋市と協調しながら、市民に愛され、世界に発信する大学として明るい未来を実現してまいります。これからも皆様からの温かいご理解とご支援を謹んでお願い申し上げます。

学長
郡健二郎

開学70周年記念事業
振り返り

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、1年延期された開学70周年記念事業ですが、これまでさまざまな取り組みを実施してまいりました。
今までの取り組みを振り返り、皆さまにお伝えいたします！

開学70周年記念事業コンセプト決定

「明るい未来へ、七色の架け橋 ～名市大の果てしなき挑戦～」

7つの部局・研究科が、それぞれの持つ研究力、教育力を最大限に発揮し、一体となることで、さらに大きな力を生み出し、世界をリードする大学への発展をめざす。

開学70周年記念事業準備委員会において決定されたこのコンセプトの下、名古屋市立大学の開学70周年記念事業がスタートしました！



採用作品(名古屋市守山区在住の木澤麻里子さんの作品)

<制作者の意図・主張(原文)>

70thのゼロを7つの部局に見立てました。それぞれの7つの異なるパーツが湧き上がるように自由に弾け飛び、名古屋から世界に大きな力を持って躍進し、風に乗って羽ばたいていくイメージです。大学ということでフレッシュさを取り入れてはっきりとカラフルな感じにしました。

開学70周年記念ロゴマーク

2018年、名古屋市立大学開学70周年記念事業コンセプトをイメージしたロゴマークを公募により制作することが決定しました。51点もの作品の応募があり、学内での投票により最優秀作品を決定しました。

名古屋市立大学 開学70周年記念事業 一施設整備一

開学70周年記念事業として、各キャンパスの施設整備とモニュメント建設を行いました。本学に足をお運びの際は、新しく生まれ変わった本学施設をぜひご覧ください。

■滝子(山の畑)キャンパス

学生会館(山の畑会館)の南側外観をレンガ調のタイルで整備し、ソテツ広場と一体となった景観を醸成しました。また、生協食堂、談話室、NCUホールをリニューアルするとともに、「大学史資料館及びIvy Room(同窓会が会議等を行うとともに在学生との交流を図るスペース)」を新設しました。



学生会館(山の畑会館)の外観



生協食堂(そてつ食堂)窓の外にはソテツ広場が広がる



談話室



NCUホール
(ステージは後援会の支援により整備されました)



Ivy Room

■学生会館リニューアル・オープニングセレモニー

2020年10月31日(土)、学生会館のリニューアルを記念したリニューアル・オープニングセレモニーを行いました。

※感染症予防のため規模を縮小し、関係者や卒業生代表ら約40名が出席しました。ご参加いただけなかった皆さまのため、当日はリアルタイムでのオンライン配信を実施しました。



リニューアル・オープニングセレモニーの様子

■桜山(川澄)キャンパス



↑ 医学部厚生学生会館西側エリアをレンガを使用して整備、ベンチなどを改修



↑ 看護学部棟正面玄関の庇および内部の天井張り替え

■北千種キャンパス



↑ 福利厚生棟南側広場をレンガを使用して整備

■田辺通キャンパス



↑ 正面ロータリー奥に記念ボール時計およびレンガを使用したモニュメントを設置

大学史資料館

学生会館のリニューアルとともに、名古屋市立大学大学史資料館をオープンしました。大学史資料館は、本学の歴史に関する資料の収集・調査・整理保存・公開・展示の役割を担います。学生会館2階では、本学の歴史や伝統を自由にご覧いただけるよう、前身校である名古屋薬学校、名古屋市立女子高等医学専門学校、名古屋市立女子短期大学および名古屋市立保育短期大学ゆかりの品をはじめ、大学所蔵の公文書や卒業生からの寄贈品を約100点展示しています。



大学史資料館のサインボード



新設された大学史資料館の展示室



名古屋市立女子高等医学専門学校
入学生「誓」



田辺通キャンパスで時報用に用いられた鐘
(1968年9月に役割を終え撤去された)

「名古屋市立大学70年史」特設サイト公開 名古屋市立大学開学70周年記念誌編纂

名古屋市立大学は、開学70周年を記念して、これまでの名古屋市立大学の歩みを回顧し、大学の将来を見据える礎として「名古屋市立大学開学70周年記念誌」を編纂するとともに、「名古屋市立大学70年史」特設サイトを公開しました。



特設サイトは
こちらから
ご覧ください



名古屋市立大学
70年史



「名古屋市立大学70年史」特設サイト
トップページ

開学70周年記念事業 冠イベント

開学70周年を盛り上げるべく、2019年以降にさまざまな冠イベントを開催しました！その中のいくつかを紹介します。

NCU学生・OB・OGサミット 2019.7.6



現役学生・OB・OGが集合し、現役生の活動発表や卒業生の在学中の様子を聞き、交流を深めるサミットを開催しました。

3市大合同シンポジウム 2019.9.27



横浜市立大学、大阪市立大学と大学の未来像を語るシンポジウムを開催しました。

NCUアジア拠点校 シンポジウム2019 2019.12.5-7



海外の4つの拠点校と「持続可能な開発目標(SDGs)」に関するシンポジウムを開催しました。

その他にも「開学70周年記念」をタイトルに付けた冠イベントや事業を多数開催しました！

開学70周年グッズ・記念品

開学70周年記念 ポロシャツ・トートバッグ

2019年6月から開学70周年記念ポロシャツ・トートバッグの販売を開始しています。収益は全て開学70周年記念事業基金に寄附されています。



背面

左袖

右袖

開学70周年記念ピンバッジ

開学70周年記念ピンバッジを学生・教職員へ幅広く配布し、開学70周年関連のイベント開催時にも配布しました。

開学70周年記念 記念品事業

開学70周年を記念し、学内外の一体感醸成のため、幅広い関係者の皆さまへ記念品としてボールペンをお配りすることとなりました。2022年3月中旬頃から順次発送しています。(裏に「東部・西部医療センター大学病院化記念」と名入れ)



名市大ブックス

本学では、これまで市民向けにさまざまな講座を開講してきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くのイベントが中止・延期を余儀なくされました。この逆境をばねに、より多くの方に学びの機会を届けるため、「名市大ブックス」を出版・発売しました。2020年10月30日(金)の第1・2巻の発売を皮切りに、現在では10巻まで発売されている書籍シリーズとなりました。いずれの巻も好評で、ベストセラーになっています。ぜひご購入ください。



2020年10月に第1巻が
出版・発売された
「名市大ブックス」

DATE 2022.2.20

名古屋市立大学大学史資料館開館記念シンポジウムを開催！

2022年2月20日(日)、大学史資料館の開館を記念して、本学在学学生・卒業生・教職員や一般市民を対象に、オンラインにてシンポジウムを開催しました。

はじめに、初代大学史資料館館長・人間文化研究科の吉田一彦特任教授が、「名古屋市立大学大学史資料館の展示と特色」と題し、大学史資料館設立の経緯や、貴重な資料について講演しました。

続いて、吉田特任教授のコーディネートの下、保健医療福祉連携理事・医学研究科の浅井清文教授、芸術工学研究科の角哲准教授、大学史資料館館長・人間文化研究科の阪井芳貴教授をパネリストに迎え、「名古屋市立大学70年の歴史と大学史資料館」と題したパネルディスカッションを行いました。当日は58名の参加があり、盛況のうちに幕を閉じました。その様子は<https://www.nagoya-cu.ac.jp/archives/>でご覧いただけます。

名古屋市立大学大学史資料館は、開学70周年記念事業の一つとして2020年10月末に滝子キャンパスの学生会館(山の畑会館)2階に開館しました。平日9時～17時の間、どなたでも自由にご見学いただけますので、ぜひ一度お越しください。



開館記念シンポジウムの様子



DATE 2021.12.5

「名市大ブックス」創刊 1周年記念事業 特別市民公開講座

2021年12月5日(日)、2020年10月に創刊した名古屋市立大学出版の書籍シリーズ「名市大ブックス」創刊1周年を記念し、特別市民公開講座を開催しました。午前の部「不治の病は過去のこと!?がん治療の新時代」、午後の部「痛みの正体～見える痛みと見えない痛み～」と題し、名市大ブックスの執筆者である教員・医師らがそれぞれのテーマで講演し、市民を対象に、健康・医療の最新の知見や正しい知識をお伝えしました。また、当日は、「名市大ブックス」の最新9・10巻の先行販売を行い、多くの方に手に取っていただくことができ、好評のうちに幕を閉じました。



特別市民公開講座の様子



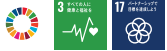
DATE 2022.1.16-2.27

名古屋市立大学病院 東部医療センター 西部医療センター

新型コロナウイルス感染症拡大で 医療ひっ迫が深刻化する沖縄県に看護師を派遣！

文部科学省および愛知県看護協会からの派遣要請に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により医療のひっ迫が深刻となっている沖縄県を支援するため、本学から下記のとおり看護師を延べ7名派遣しました。その様子はメディアに取り上げられました。

派遣要請機関	派遣期間	派遣職員(所属)	人数	業務内容
文部科学省	1月18日(火)～1月31日(月) (14日間)	西部医療センター	1名	①入院重点医療機関での中等症～重症患者への対応 ②入院待機施設での中等症患者への対応
	1月30日(日)～2月12日(土) (14日間)	名古屋市立大学病院	2名	
愛知県看護協会	1月16日(日)～1月30日(日) (15日間)	東部医療センター	1名	宿泊療養施設での看護業務
	1月30日(日)～2月12日(土) (14日間)	名古屋市立大学病院	2名	
	2月13日(日)～2月27日(日) (15日間)	東部医療センター	1名	



DATE 2021.11.25

大学院 芸術工学研究科

新型コロナ病棟に患者・医療スタッフの ためのヘルスケアアートを贈呈

医療や福祉の場に芸術を取り入れる「ヘルスケアアート」に取り組んでいる芸術工学研究科の鈴木賢一教授が、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる東部医療センターの患者・医療スタッフのためにヘルスケアアートを贈呈しました。

贈呈した作品は、地元の東山動植物園の動物をあしらった紙コップとティッシュボックス、自然の風景を描いたトイレパーテーション(間仕切り)、廊下壁面へ投影するデジタルアートで、オンライン開催したワークショップに参加した学生や市民らとともに医療関係者や企業の協力を得て制作したものです。

協力:東山動植物園(動物の画像やイラスト提供)、株式会社サンゲツ(壁紙シート出力と貼り作業の協力)



東山動植物園の動物をあしらった紙コップとティッシュボックス



病棟廊下に投影したデジタルアート



DATE 2021.10.28

西部医療センター

新型コロナウイルス対応の 最前線を体験する講座を開催！

2021年10月28日(木)、医学部附属西部医療センターにて、医療系学生が新型コロナウイルス感染症への医療対応を学ぶ講座を開催しました。本講座は、名古屋市立大学医学部の学生団体が中心的に活動を展開する「PICoプロジェクト(※)」の一環で、名市大内外の医学生・看護学生が参加しました。

コロナ病棟の看護師、感染管理認定看護師らの説明の後、学生は発熱外来やコロナ病棟を見学した他、個人防護衣の着脱や感染対策下での病室清掃等を体験しました。参加した学生からは、「ゾーニングの徹底など実際に現場を見てみると分からないことがあり、貴重な経験となった」との感想があり、将来の医療者がパンデミックの一端を体感できる貴重な機会となりました。

(※)PICo: Passion=医学生の熱意、Innovation=医療者・教育施設の革新、Co-Creation=医学生・医療者・教育施設の三位一体の協力

医学生と愛知県、愛知県周辺の医療者・教育施設が相互に意見を出し合い、医学生に新しい教育プログラムを提供し、新しい学びの場を作り出すためのプロジェクト



コロナ病棟にて(後列左2～5番目が参加学生)



DATE 2022.2.19

令和3年度 名古屋市立大学交流会総会を 開催しました

2022年2月19日(土) 令和3年度 名古屋市立大学交流会総会を開催しました。
当日はオンライン生中継を含め、多くの方にご参加いただきました。



村井清副会長によるあいさつの様子

名古屋市立大学交流会とは？

名古屋市立大学、名古屋市立大学女子短期大学および名古屋市立保育短期大学の卒業生や在学学生、退職・退官された教職員、現任教職員等を会員とする全学レベルの組織です。



■名古屋市立大学交流会ウェブサイト
<http://www.koryukai.jp/>

DATE 2022.1.13

瑞穂警察署より 感謝状が贈られました

2022年1月13日(木)、本学の日頃からの警察業務への協力に対し、瑞穂警察署より感謝状が贈られました。本学では、瑞穂警察署より提供された防犯に関する啓発動画を市大病院内のモニターで表示したり、同病院の正面玄関で瑞穂警察署による啓発活動を行うなど、日頃から協力を進めています。また、大規模な災害が発生し、瑞穂警察署の庁舎が使用できなくなった場合に、滝子(山の畑)キャンパス内の施設を瑞穂警察署が一時使用できることを定めた覚書を締結しています。地域を守るパートナーとして、これからも連携を進めてまいります。



瑞穂警察署 安藤署長(左)と
本学 郡理事長(右)

DATE 2021.11.29

名古屋市立大学・豊橋技術科学大学 包括連携協定締結式及び 記念シンポジウムを開催！

2021年11月29日(月)、名古屋市立大学と豊橋技術科学大学の包括連携協定の締結式及び記念シンポジウムを開催しました。シンポジウムは、「医薬・工連携の新たな挑戦」と題し、両者の教員が講演・パネルディスカッションを行い、教職員・市民をはじめ多くの方々に聴講していただきました。今後、両大学の専門分野を十分に生かし、地域社会の一層の発展に資するため、教育、研究、社会貢献等に関して連携を推進し、学術及び産業の発展並びに人材の育成に寄与してまいります。



協定締結の様子

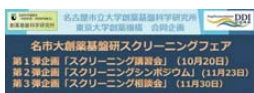
DATE 2021.10.20/11.23/11.30

大学院 薬学研究科

創薬スクリーニングフェアを開催！

薬学研究科の創薬基盤科学研究所では、東京大学の創薬機構の協力を得て、医薬品のもととなる化合物を探す「スクリーニング」に関する3つのイベントを、「創薬スクリーニングフェア」と題して行いました。

第1弾として2021年10月20日(水)に、スクリーニングの基礎を学ぶ「化合物スクリーニング講習会」を開催しました。第2弾は11月23日(火)に、「スクリーニングシンポジウム」として、薬学研究科の先生方の研究の発表会を行い、スクリーニング研究の最新の具体例を紹介していただきました。第3弾は「スクリーニング相談会」として、これからスクリーニングを始めようという人や実際に始めた研究者のための相談会を11月30日(火)に開催しました。いずれもZoomによる開催で、中部地方の研究者や学生さん計94名に参加していただきました。



DATE 2021.11.18

TEEPシンポジウム・ ワークショップ2021を開催！

2021年11月18日(木)、本学が文部科学省の「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」に採択された「進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)」第2回シンポジウム・ワークショップがオンラインで開催され、約130名が参加しました。シンポジウムでは、今後の人材養成における実務家教員のあるべき姿と役割が議論され、実務家教員がシミュレーションや課題解決型演習等の実践的学習の担い手であることが強調されました。また、ワークショップでは、修了生5名から、修了生から見た実務家教員養成プログラムの意義と受講による貴重な体験が語られました。キーワードは自らのキャリア開発デザインでした。活発な質疑応答もあり、豊富な実務経験と教育力を併せ持つ実務家教員が、企業と大学をつなぎ、新たな価値を生み出す可能性を感じるものとなりました。



DATE 2021.10.17

薬学部

瑞穂区連携事業「薬学教室」を開催！

例年8月に開催している薬学部と瑞穂区役所との連携事業「なつやすみ薬学教室」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2021年度は10月17日(日)に延期して開催しました。今回は「あなたも科捜研の一員になれる?！」をテーマに、小学5年生から中学3年生の28名が、試薬を用いた血痕や指紋の検出の体験を行いました。

試薬が光ったり、自分の指紋が浮か出たりすると参加者は歓声を上げ、実験を補助した本学の学生も参加者とともに笑顔になりました。終了後のアンケートでは、とても楽しかったという感想の他、薬学部に興味を持ったという感想も多くいただきました。数年後に一緒に本学で学び、そして研究する仲間になってもらえることを期待しています。



指紋の検出体験

DATE 2021.10.16/11.5/11.12

大学院 看護学研究科

なごや看護生涯学習セミナー 「看護研究いろはの『い』・『ろ』・『は』」を開催！

2021年10月と11月に、医療関係者を対象に、看護研究セミナーを3件実施しました。看護研究いろはの「い」では、研究疑問から研究計画書作成について、いろはの「ろ」では、量的研究の基礎について、いろはの「は」では、質的研究の基礎について、それぞれ看護学研究科の教員による講義を行いました。セミナー終了後のアンケートからは、「論文に興味があっても、これまで学習機会がなかったため書くことができないが、今後、学んでみたいと思っている」「いままで多くの時間と手間をかけて勉強したものが集約された印象であった」などの声を数多く聞くことができ、受講者にとって充実した学びの場となりました。



看護研究いろはの「ろ」の様子

DATE 2021.10.23



大学院 看護学研究科

なごや看護生涯学習セミナー

「体験型オープンダイアログ〜『聴く』と『話す』が織りなすケアの可能性〜」を開催!

2021年10月23日(土)、医療関係者を対象に、看護実践セミナー「体験型オープンダイアログ〜『聴く』と『話す』が織りなすケアの可能性〜」を開催しました。

セミナーでは、オープンダイアログ(※)について、看護学研究科の門間晶子教授と同研究科博士後期課程3年の加藤まりさんによる講義と演習を行い、オープンダイアログの発祥・実際、7つの原則、12の基本要素、日本での広がりなどについて、フィンランドでの研修ツアーの様子を含めて説明がありました。

受講者からは、「体験することができ、とても勉強になった」「この考え方がもっと広がり、支援につながると思う」となどの感想があり、充実した学びの場となりました。

(※)「オープンダイアログ」とは、フィンランドの西ラップランドで1980年代から統合失調症に対する家族療法的なアプローチとして始まり、薬物をほとんど使わず、対話の力で治すという成果をあげているアプローチです。



オープンダイアログの様子

DATE 2021.11.8



大学院 芸術工学研究科

各務原市役所新庁舎のみどりづくり 「新庁舎どんぐりのタネプロジェクト」

各務原市役所新庁舎の建設に際して、市民参加型の企画を通して新庁舎への親しみを持ってもらおうと、同市内の公園に自生する樹木の種から苗木を育て新庁舎の敷地に植樹する「新庁舎どんぐりのタネプロジェクト」が始まりました。このプロジェクトは、同市の景観アドバイザーを務める芸術工学研究科 大野暁彦准教授の発案により始まり、2021年11月8日(月)には、大野准教授が各務野自然遺産の森で市内の親子連れとともに、どんぐりなど21種類の種子を拾い集めました。採取した種は、市職員らが高さ30cmの苗木になるまで育てた後、新庁舎完成の2023年3月頃に市民の手で植樹する予定です。



各務原市役所の職員の方と集めたタネを仕分けする様子

DATE 2021.12.14/12.16/12.24



今年で9年目! 名市大「BLS講習会」を開催!

2021年12月14日(火)・16日(木)・24日(金)の3日間、学生と教職員を対象に、胸骨圧迫やAED、人工呼吸などの一次救命処置の実践方法を学ぶ「BLS(※)講習会」を開催しました。東部医療センター救命救急センター長の松嶋麻子教授がディレクターを、救命救急サークルMeLSC(メルシー)の学生(延べ24名)がインストラクターを務め、3日間で学生29名、教職員32名が参加し、盛況のうちに終えることができました。医学部3年でMeLSC代表の鈴木英資さんは、「119番から救急車が到着するまでの時間は、名古屋で約6分。その6分の間にできることがある。ちょっとした知識と勇気で救える命がある。」と講習の中で訴えました。いざというときに1人でも多くの命を救えるように、今後も名市大ではBLSの普及に努めていきます。

(※)BLS…Basic Life Supportの略称



講習会の様子

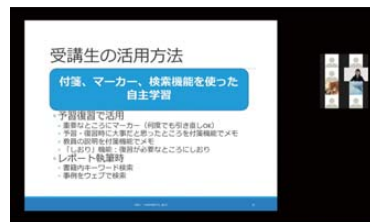
DATE 2021.12.24



FD・SD講演会を開催!

2021年12月24日(金)に「コロナ禍における新しい授業・学生支援の取り組み」をテーマに、FD・SD講演会を開催しました。当日は、経済学研究科の山本奈央准教授、芸術工学研究科の寺嶋利治助教、看護学研究科の益田美津美准教授から、それぞれ遠隔授業の実施における工夫や課題などについての講演がありました。この講演会には名古屋六大学(※)も参加しており、合計で100名以上の教職員が参加しました。講演後のアンケートでは、「コロナ禍にしているいると授業の工夫をしているところが多く、とても参考になった」、「教員側の新しい取り組みに対する、学生側の反応を知ることができた」などの声があり、教職員にとって、今後のさらなる授業内容の向上を考える機会となりました。

(※)名古屋六大学:名古屋市立大学、名古屋大学、名古屋工業大学、南山大学、名城大学、中京大学



FD・SD講演会の様子

DATE 2021.12.20/2022.2.7



都市政策研究センターが「2021年度連続セミナー」を開催!



第1回「データ分析からみた地方財政健全化」の様子



第2回「個人情報保護制度の概要と展望」の様子

2021年度連続セミナー「社会経済の変化と都市政策」を、名古屋市および近隣自治体の職員を対象として、オンライン(Zoom)にて開催しました。本年度は、第1回を2021年12月20日(月)に「データ分析からみた地方財政健全化」(講師:経済学研究科 湯之上英雄准教授)をテーマとして開催し、データ分析の手法を紹介し、地方財政健全化について講義しました。また、第2回は2022年2月7日(月)に「個人情報保護制度の概要と展望」(講師:人間文化研究科 小林直三教授)をテーマとして開催し、個人情報保護法改正の概要とそれを踏まえた展望について講義をしました。第1回、第2回ともに質疑も活発に行われ、大変有意義な時間となりました。受講者からの「教養が深まった」、「広い視点を持つきっかけとなった」などの声を励みに、今後も都市の課題に関する情報の発信を進めていきます。

国際交流

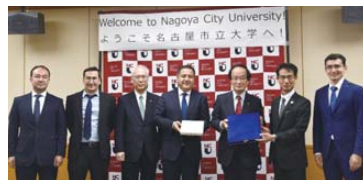


タシケント医学アカデミーとの学術交流協定締結 およびウズベキスタン共和国駐日大使の来訪

名古屋市立大学は、タシケント医学アカデミー（ウズベキスタン共和国タシケント市）と学術交流協定を締結し、2021年10月15日（金）にオンライン形式にて協定締結式を開催しました。先方よりアリシャー・シャドマノフ学長、アシソファ・フェルサ副学長、ムロド・ジャファロフ国際部長が、本学より郡学長、医学研究科の高橋研究科長と安井教授が参加し、今後の共同研究等をはじめとした交流について意見交換を行いました。



協定書署名後の両学長

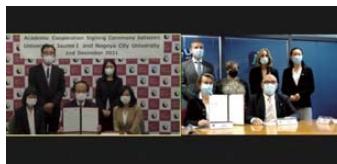


ウズベキスタン駐日大使訪問の様子

また、協定締結式に合わせて、駐日ウズベキスタン共和国大使館のムクシクジャ・アブドゥラフモノフ特命全権大使ご一行が本学を表敬訪問されました。その後、本学とウズベキスタン共和国内の大学との今後の交流について参加者らと話し合われました。

ジャウメI世大学(スペイン)と 大学間交流協定を締結！

名古屋市立大学は、ジャウメI世大学（スペイン）と学術交流協定および学生交流協定を締結しました。2021年12月2日（木）にオンライン協定締結式が開催され、両大学学長および関係者らが出席しました。ジャウメI世大学のエバ・アルコン学長は、「日本との関係強化に向け、さらなる一歩を踏み出した」、名古屋市立大学の郡学長は、「スペイン語圏の国々から多くの学生を受け入れたい」とあいさつしました。締結式の後は、ジャウメI世大学の教員や職員による「スペイン短期派遣研修説明会」が行われ、学部生・大学院生が参加しました。今後、スペイン語圏との学生交流が活発となることを期待しています。



協定締結式の様子



名古屋市立大学からの参加者

「日本語Talk Time～雅～」を開催！

2022年1月12日（水）、国際交流センターと同センター公式学生団体「NCU GO!」、「よいしょ」が合同で「日本語Talk Time～雅～」をオンライン開催しました。このイベントは日本語での交流を目的としており、タイ、アメリカ、ドイツ、韓国の国際交流協定大学と名古屋市大の学生あわせて55名が参加しました。教員と学生団体が企画した5つのブレイクアウトルームが用意され、参加者は各自興味のあるルームに参加する形式で行われました。特に参加者へ漢字の名前をプレゼントするコーナーでは大いに盛り上がりました。コロナ禍でも国際交流協定大学の学生とつながることができた貴重な機会となりました。



参加者の集合写真

国際交流センター公式学生団体「NCU GO!」が Christmas Partyを開催！

2021年12月12日（日）、国際交流センター公式学生団体「NCU GO!」により、留学生と日本人学生の交流を目的としたChristmas Partyが開催されました。本年度は十分な感染対策を行った上で対面で開催することができ、留学生と日本人学生合計約20名の学生が参加しました。和やかな雰囲気の中、ビンゴゲームやクイズ大会、プレゼント交換など楽しいイベントが行われました。コロナ禍では久々の対面でのイベント開催となり、留学生と直接コミュニケーションをとることができる素晴らしい機会となりました。



全員での集合写真

東ティモールパーツ大学との 第2回オンライン交流講義を開催！

看護学部

2021年11月11日（木）、本学看護学部の教室、パーツ大学公衆衛生学部の教室と同大学のフィールド実習サイトである2つの村をつないで交流講義を開催し、両校の学生、教員合わせて約250名が参加しました。本学からは、看護学部2年生3名が日本の保健師の仕事の紹介をし、看護学研究科博士前期課程2年生が東ティモールの公的データを使った研究結果を発表しました。パーツ大学からは、1年生と教員により公衆衛生学部の紹介があった後、村でのフィールド実習の様子について発表がありました。すべて英語で実施され、とても貴重な交流の機会となりました。



オンライン交流講義の様子(看護学部の教室)



オンライン交流講義の様子(パーツ大学の教室)

鶴舞中央図書館主催

絵本の読み聞かせイベントに本学留学生3名が出演！

2021年12月11日（土）に、鶴舞中央図書館の主催、本学国際交流センターの協力により、「せかいのことばでおはなし会」が開催され、本学の留学生3名がゲスト出演しました。2014年から毎年開催されており、今年で9回目の開催となりました。このイベントは、留学生がそれぞれの母語で絵本の読み聞かせをするというもので、本年は中国語、英語、韓国語で行われました。4歳前後のお子さんやその保護者の方計10名の参加があり、絵本の朗読の他、出身地の紹介や



読み聞かせの様子

それぞれの言葉で「ジングルベル」と一緒に歌うお楽しみの時間が設けられ、参加者みんなでの交流が行われました。イベント終了後には、出身地に関して留学生に質問をする子どもの姿も見られました。



読み聞かせを行った留学生の皆さん

令和3年度 永年勤続職員表彰

※五十音順に掲載



永く、本学で勤め、支え続けていただいた皆さまへ、心より深く感謝いたします。今後も健康にご留意いただき、ますますのご活躍をお祈りいたします。

■30年勤続表彰

足立 珠美
看護師長(病)
支えて頂いた方に感謝し
今後も精進します。

稲垣 宏
教授(医)
皆様からの長年のご支援
に感謝します。

岩澤 加奈
衛生技師(事)
多くの方のお力添えに感
謝申し上げます。

大橋 実
技師長(病)
名市大に入職して本当に
良かったです。

笠井 早代
看護師(病)
支えていただいている皆
様に心より感謝致します。

北野 ゆかり
看護師長(病)
支えて下さった方々に、
深く感謝致します。

國友 博史
主査(病)
支えて頂いた方々に深謝
いたします。

近藤 知史
講師(医)
すばらしい同僚に恵まれ
心から感謝します。

田中 幸子
助産師長(病)
皆様のご支援に感謝し、
今後も尽力いたします。

外山 敦子
看護師長(病)
同僚や多くの人に恵まれ、
感謝しております。

長江 由美子
看護師長(病)
支えて頂いた方々に、深く
感謝致します。

中沢 陽子
准教授(西)
進化してきた環境を感謝し
ています。

新里 美由紀
看護師(病)
皆様の温かい支援に、心
より感謝致します。

早川 則子
看護師長(病)
これまで出会えた人々・
環境に感謝致します。

日木 満
教授(人)
30年もお世話になり感謝
しかありません。

松井 幸子
看護師長(病)
支えて頂いた皆様に、深く
感謝申し上げます。

吉松 由子
看護師長(病)
感謝と思いを大切に
今後も精進します。

■20年勤続表彰

東 英樹 講師(医)
安藤 未央 看護師(病)
片山 詔久 准教授(理)
小松 弘和 教授(医)
関 亜也子 看護師長(病)
谷川 元紀 講師(医)
坪倉 聡 主査(病)
靄田 かおり 看護師(病)
濱嶋 直樹 准教授(西)
山田 美香 教授(人)

※所属

(事)：大学管理部・学部事務室等
(医)：医学研究科
(人)：人間文化研究科
(理)：理学研究科
(病)：名古屋市立大学病院
(西)：西部医療センター

令和3年度 学長表彰



本学で教育、研究、社会貢献、管理・運営、診療等で顕著な業績を挙げ、本学の発展に尽くされた方を表彰するものです。2021年11月25日(木)に表彰式を行い、学長より表彰状が手渡されました。

■教育

薬学研究科 教授 鈴木 匡

■研究

医学研究科 講師 志村 貴也

芸術工学研究科 講師 木村 俊明

理学研究科 教授 鎌田 直子

■社会貢献

経済学研究科 教授 鵜飼 宏成

■管理・運営

人間文化研究科 教授 山中 亮

看護学研究科 教授 堀田 法子

■診療

医学研究科 教授 長谷川 千尋

(東部医療センター)

医学研究科 教授 秋田 憲志

(西部医療センター)



表彰式での集合写真

(前列左から)鈴木教授、志村講師、郡学長、木村講師、鎌田教授
(後列左から)鵜飼教授、山中教授、長谷川教授



看護学研究科
堀田教授



医学研究科
秋田教授

教員の受賞

※受賞期間：2021年10月1日～11月30日 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載



■医学研究科



一般社団法人日本医療薬学会
第31回 日本医療薬学会年会
Young Investigator's Award
臨床薬学分野 講師
片岡 智哉



令和3年度
愛知県薬事功労者知事表彰
臨床薬学分野 教授
鈴木 匡



World Meeting on
Sexual Medicine 2021
Best Abstract Presentation
- Preclinical Prize
病院薬学分野 講師
堀田 祐志



Youth Enterprise 2021

トレードフェアで経済学部 鶏飼ゼミが入賞!

2021年11月21日(日)に、Youth Enterprise 2021トレードフェアが開催されました。これは、国際化・情報化時代に、よりよい社会の実現に向けてアントレプレナーシップ(起業家的行動能力)を発揮できる若者の育成を目的に、2001年より開催されているイベントです。

本学からは経済学部の鶏飼宏成ゼミの3チームが参加しました。自分たちのアイデアを実現するために自ら協力企業を見つけ、試行錯誤を重ねた製品を出品。プレゼンテーション、審査員との質疑応答の結果、3チームとも入賞を果たしました!



スマイクル

京都府知事賞

(大賞に当たる賞:社会貢献度が最も高いチーム)
「するてん責任」をひと手間で

チーム:スマイクル
小川 綾乃さん(4年)、佐々木 夏帆さん(4年)、
中山 里実さん(3年)

京都中小企業家同友会賞

(ビジネスモデルに新規性や独自性の高いチーム)

ホットアイマスク×昼寝枕でストレスフリー!

チーム:eaSe
飯沼 菜緒さん(3年)、鴻巣 恭兵さん(4年)、
萩永 啓之進さん(4年)



eaSe



NICO NICO

ジェンダーフリーでニコニコライフ

チーム:NICO NICO
木村 瞭佑さん(3年)、可児 七葉さん(4年)、佐藤 和音さん(3年)、西村 香帆さん(3年)、
古田 莉穂さん(3年)、馬止 裕太さん(4年)、山本 美優さん(4年)

異能工房賞

(実際に起業するなら応援したいチーム) 及び

スチューデント賞

(出展している学生・生徒による投票で最も支持されたチーム)



人文社会学部

プラスチック容器の完全回収を目指して —ペットボトルのデポジット制実証実験—

昨年度、名古屋市SDGs IDEA FORUMで最優秀賞を獲得した学生団体 NCU Global Justice Projectが、アイデアの実証実験を、2021年11月3日(水)に東山動物園で実施しました。これは、学生たちがデポジット対象となるペットボトル飲料を園内で販売し、容器を返却した購入者に容器保証金として20円を返却するものです。実証実験に参加し、実際にデポジット制を経験した来園者からは、「プラスチック容器の回収率を上げるよい取り組みだ」といった評価をいただきました。また、プラスチックごみによる海洋汚染問題などについて、来園者と対話の輪も広がりました。



保証金を上乗せしたペットボトル飲料を販売する学生たち



人文社会学部

人文社会学部学生が瑞穂区高校生向けに 「SDGsと観光まちづくりについて考える ワークショップ」を開催!

人文社会学部 三浦哲司准教授のゼミでは、「名古屋の観光まちづくり」をテーマに、カードゲーム体験を通じて観光まちづくりのあり方を体験できるワークショップを、中学生や高校生向けに展開しています。今回は2022年1月13日(木)に、瑞穂区内の高校生23名の参加の下、SDGsを意識しながら、名古屋の観光の振興とその副作用の両面を考えるワークショップを開催しました。参加した高校生は、学校も学年も異なる5チームに分かれ、



ゼミ生の解説を聞く参加者

カードゲームに挑戦しました。初対面同士でチームを組みましたが、時折笑いも起こるなど、和やかな雰囲気の中でゲームは進んでいきました。参加した高校生からは、「まちづくりについて考える良い機会になった」「今日の学びを自らの行動につなげたい」などの感想も寄せられています。この取り組みは瑞穂区役所との連携で行われているもので、今後も継続していく予定です。



芸術工学部

KOUGEI-EXPOに出展!

～芸術工学部学生がデザインした 「尾張仏具の新しい祈りのカタチ」～

住環境の変化や「宗教離れ」の影響により、仏壇仏具の売上は年々減少してきています。しかし、故人を想う気持ちは、時代が変わっても失われるわけではありません。そのような背景から、若者の感性で「新しい祈りのカタチ」をデザインする試みが、尾張仏具技術保存会と芸術工学部影山友章研究室との連携により実施されました。約1年の開発期間を経て、産業イノベーションデザイン学科3年の磯田彩穂李さん、黒田和花さん、幸田悠さんがデザインした3つの仏具が、第38回伝統的工芸品月間国民会議全国大会(KOUGEI-EXPO)に出展されました。



工芸エキスポでの展示の様子

左:手のひらに収まる祈り「てのり」 中:御本尊が投影される遺品入れ「影の音」
右:空に還った故人を偲ぶ、空を切り取る仏壇「kuu」

医学部

第39回 大阪女性文芸賞、短歌大会、 出版コンペティションで受賞ラッシュ!

医学部3年の中川朝子さんが、第39回大阪女性文芸賞を受賞しました。大阪女性文芸協会が主催しているこの文学賞に中川さんは小説「息ができない」で応募し、全国249編の応募作品の中から受賞に至りました(同賞の大学生受賞は史上2人目)。受賞作品は文芸誌「鐘」第34号に掲載され、2022年2月より発売されています。中川さんは、第15回全日本学生・ジュニア短歌大会 高校・大学専門学生の部で奨励賞、第17回出版甲子園で準グランプリも受賞しています。



短歌大会の賞状と作品が掲載された冊子

学生の受賞

※学年は受賞時



医学部

日本神経化学会
第64回 日本神経化学会大会
若手道場優秀発表賞

<受賞者>
医学部4年 樽松 千紘 さん



薬学部

第33回 微生物シンポジウム
若手奨励賞

<受賞者>
薬学部薬学科6年
衛生化学分野
占部 彩花 さん



第31回 日本医療薬学会年会
Young Investigator Award (学生)

<受賞者>
薬学部薬学科6年
医薬品安全性評価学分野
秋田 彩佑 さん



経済学部

学生ビジネスプランコンテスト
第19回 キャンパスベンチャーグランプリ中部大会 中部経済連合会会長賞
第18回 キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 JVCA賞

<受賞者>
経済学部3年 山田 拓仁 さん(写真左)、森田 結人 さん(写真右)



芸術工学部 大学院 芸術工学研究科

やお80映画祭2021 学生部門 入選

<受賞者> 芸術工学部 栗原研究室
作品名:小さな勇気



中日新聞主催 東海プロダクトデザインアワード

最優秀賞
<受賞者>
芸術工学部
産業イノベーション
デザイン学科4年
井倉 芳弥 さん



テーマA「火の周りで使うキャンピング」応募作品
作品名: Angrill

入選
<受賞者>
芸術工学部 産業イノベーションデザイン学科3年
黒田 和花 さん
作品名: PENCook! (写真上)
芸術工学部 産業イノベーションデザイン学科2年
石川 ひなた さん
作品名: souplus (写真下)



建築設備士の日 記念学生コンペ「SDGsへ建築設備の未来像」
～2030年のゴールに向けて建築設備の未来へのイノベーション～ 佳作

<受賞者>
芸術工学部 建築都市デザイン学科4年 野々村 佳奈さん(写真)、吉野 遥樹さん
芸術工学研究科 博士前期課程1年 鈴木 笙悟 さん、Yuniar Afifa nur さん
芸術工学研究科 博士後期課程2年 吉岡 沙野 さん



日本造園学会中部支部大会

最優秀学生発表賞
<受賞者> 芸術工学部 建築都市デザイン学科4年
遠藤 有佳 さん(写真左)



優秀学生発表賞
<受賞者> 芸術工学研究科 博士前期課程2年
四方 勲太 さん(写真右)

開学70周年記念事業へのご寄附ありがとうございました

- 個人 100万円以上 小田切 澤子 様、高野 道子 様
- 10万円以上 本多 英邦 様
- 1万円以上 沼 雅一 様
- 非公表 三宅 勝 様

感謝状贈呈式が行われました
開学70周年記念事業に対して、株式会社ナオツウ様より高額のご寄附をいただきました。そのご厚意に対し、郡理事長から感謝状が贈呈されました。



株式会社ナオツウ様

※五十音順。2021年10月1日から12月31日までに寄附をいただき、公表に同意された方。 ※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。 ※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、連携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

寄附顕彰

大学振興基金

- 個人 1千万円以上 高野 道子 様
- 10万円以上 伊藤 光成 様
- 1万円以上 小浜 初代 様
- 5千円以上 高橋 和彦 様、田島 收 様
- 非公表 大原 誠章 様、岡本 哲 様、川村 恭史 様、岸 信広 様、鬼頭 良彰 様、古賀 剛 様、堀田 典裕 様、三好 哲也 様
- 団体 5万円以上 読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局 様
- 非公表 医療法人正育会 春木レディースクリニック 様

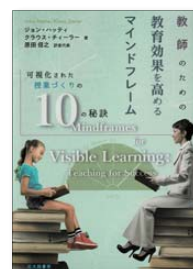
名市大生みらい応援基金

- 個人 10万円以上 玉井 浩子 様
- 5千円以上 田島 收 様
- 非公表 井本 剛司 様、郡 健二郎様、郡 洋子様



教員著書・発行物紹介

「教師のための教育効果を高めるマインドフレーム」



著者: 人間文化研究科 教授
原田信之(訳者代表)
(原著者: J.ハッティ & K.チーラー)
出版: 2021年11月 北大路書房



【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ事務局大学管理部企画広報課までお寄せください!

▶▶▶ E-mail : ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

●本誌掲載の写真の一部は、撮影時のみマスクを外しております。